善光寺巡礼の道

戸隠道と北国脇往還（善光寺道）が「歴史の道百選」に

長野市教育委員会文化財課 課長　小柳 仁彦

戸隠道、北国脇往還（善光寺道）が2019年10月、「歴史の道百選」に選定されました。

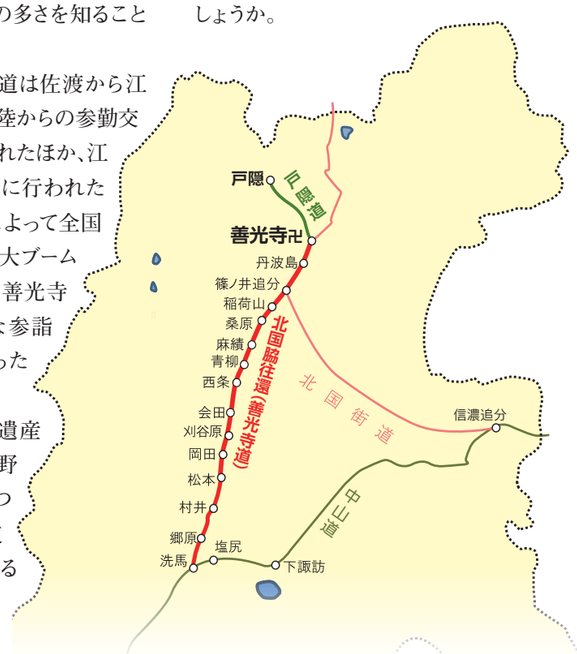
「歴史の道百選」は、明治時代まで使われた道のうち土道、石畳道、道形等が一定区間良好な状態で残っているなどの基準を満たしたものから文化庁が選定するもので、1996年にまず78件が選定されました。今回の追加選定により全国で114件となりました。

今回追加選定された「戸隠道」は、善光寺から戸隠神社（近世までは戸隠山顕光寺）に至る参詣道で、修験者が霊場戸隠山へ向かう道として開かれたものが、やがて大衆の参詣が増えるにつれ、複数の道筋として整備されたと考えられています。道筋には丁石（1丁〈町〉は約109㍍）が置かれ、旅人達の目的地までの案内役を果していたことから、当時、この道を通った人が多かったことをうかがい知ることができます。この古い丁石は現在十数個しか残っていませんが、市指定の史跡になっています。

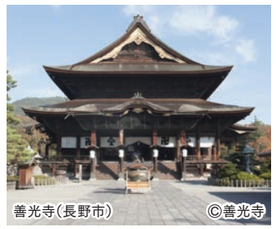
次に、北国脇往還（善光寺道）は中山道洗馬宿から北国街道篠ノ井追分を結ぶ輸送路で、善光寺へ向かう西の参詣路となっていたことから善光寺西街道とも呼ばれています。また今回の選定範囲には含まれていませんが、中山道信濃追分（軽井沢町）から分かれた北国街道（信濃追分～直江津）は善光寺東街道とも呼ばれています。これらの道には所々「善光寺へ」と書かれた石造りの道標が置かれていることからも往時の往来の多さを知ることができます。

江戸時代、北国街道は佐渡から江戸への金の輸送や北陸からの参勤交代のルートとして使われたほか、江戸時代中期以降盛んに行われた善光寺回国開帳等によって全国的に善光寺参りが一大ブームとなっていく過程で、善光寺への参詣客の大事な参詣路として発展していったと考えられています。

参考までに、世界遺産に登録されている熊野古道は紀伊山地の三つの霊場を結ぶ参詣道で、周辺には関連する建造物や名所・旧跡が残され、宗教文化の貴重な継承の場所になっています。熊野と善光寺を単純には比べられませんが、今回の歴史の道百選のへ選定をきっかけに、沿道に残る文化財と善光寺信仰との結びつきを調べ、市民に向けた勉強会などや古道探索会を企画するなど、すすめる会としての活動の広がりを目指してみてはいかがでしょうか。



戸隠中社地区


善光寺（長野市）　©善光寺

巨大な岩を開削した大切通し（青柳宿）

中山道から善光寺道へ分岐する、分去（わかさ）れの常夜灯（洗馬宿）

【歴史の道百選】

2019年10月の追加選定で完成した「歴史の道百選」。県関連では▼中山道・碓氷峠越（群馬県・坂本宿、碓氷峠、軽井沢町・追分宿）▼松本・千国街道（新潟県・大網峠、北安曇郡白馬村・小谷村など）▼中山道・信濃路（北佐久郡立科町・笠取峠から木曽郡南木曽町・岐阜県の馬籠峠まで）▼野麦道・野麦峠越（松本市奈川）の４カ所が既に選ばれており、今回の追加で計６カ所になりました。

編集後記

長野市民はどれだけ善光寺さんのことを知っているのだろう。お友達に善光寺さんの何が説明できるだろう。知れば知るほど奥深い善光寺さんのことを学ばせてもらった1年でした。日本にとどまらず、世界に向けてもっともっと善光寺さんをPRしていきたいと強く思いました。長野市の誇りである善光寺さんを世界遺産にしていくために今後も積極的に活動をして参ります。そして、本会を支えていただいている会員の皆さまのご協力に改めて感謝申し上げます。（事務局 加藤久美子）

善光寺さんを世界遺産に
ZENKOJI Temple for World Heritage Listing

Vol.16
2019.DEC

NEWS LETTER

善光寺の世界遺産登録をすすめる会　事務局■ 公益社団法人 長野青年会議所 内
Tel : 026-228-3260
http://www.sekaiisan-zenkoji.jp/

世界遺産フォーラム 文化遺産とひと・まちづくり

〈主催〉善光寺の世界遺産登録をすすめる会
〈共催〉善光寺・長野商工会議所・長野青年会議所・信濃毎日新聞社

「善光寺と門前町」の世界遺産登録を目指して街づくりの在り方を考える「世界遺産フォーラム」は2019年９月７日、長野市の信濃毎日新聞長野本社で開かれました。約70人の市民らが参加。2014年に世界文化遺産に登録された群馬県の富岡製糸場の事例を学び、善光寺の登録に向けた方策などを考えました。要旨を紹介します。

第1部　基調講演 ～世界遺産「富岡製糸場」の事例から～

地域文化の中に価値を見つける

群馬県富岡市 世界遺産観光部 富岡製糸場総合研究センター所長 結城 雅則氏

世界文化遺産としての価値

富岡製糸場は、「富岡製糸場と絹産業遺産群」として2014年に世界文化遺産に登録されました。世界遺産登録へのプロジェクトは2003年に始まり、学校教科書へ写真掲載を依頼することからスタートしました。それまでは錦絵で紹介されていた富岡製糸場を写真で示し、現存する遺産だと世間に知ってもらう必要がありました。

2006年に提出した推薦書では、富岡製糸場と絹産業遺産を日本産業革命の原点と位置付けました。しかし、“産業革命”は、歴史認識や世界情勢が関わる複雑な命題でした。また、同時期に九州・山口を中心に進められた日本の近代化をテーマにした遺産群（後に「明治日本の産業革命遺産　製鉄・製鋼、造船、石炭産業」として世界遺産に登録）でも推薦書が提出されていました。それと一線を画すためにも、私たちは、「世界の絹産業の発展、絹の大衆化をもたらした『技術交流』と『技術革新』」にテーマを見直しました。生活に欠かせなくなった生糸を生産する過程全体を今日に伝える見本と認められ、世界遺産登録が実現しました。

絹産業は「ぐんまのたからもの」

群馬県では、養蚕、製糸、織物などの絹産業に関わる建造物や民俗芸能などを「ぐんま絹遺産」として登録して、保存活用に努めています。世界遺産に登録された富岡製糸場は「製糸」の過程ですが、その前後には「養蚕」と「織物」の過程が存在します。いずれも働き者の女性たちが支えてきたことから関連文化財が日本遺産「かかあ天下―ぐんまの絹物語―」に認定されています。

地域で守り、伝える

世界遺産登録は決してゴールではありません。守り、伝えていく活動が重要です。2015年からは国宝の「西置繭所」の保存整備工事をしています。古い材を可能な限り使用し、稼働していた頃の姿への復元と、耐震補強と建物活用のための整備をしています。製糸への理解を深めてもらうために、創業した1872（明治5）年頃の富岡製糸場を再現したCG画像をスマートグラスに投影して当時の様子を体験できるCG映像ガイドツアーを実施、海外からの観光客向けに５言語に対応した音声ガイドを貸し出しています。ガイドツアーでは約90人の地域の方が解説員として活躍しています。

富岡製糸場の建物は世界遺産に登録されたことで永遠に残されることになりました。しかし、建物が残っていても、富岡から絹産業がなくなってしまっては価値が半減してしまいます。世界遺産として認められた富岡製糸場と絹産業の価値を後世に引き継いでいくことが私たちの使命だと考えています。

世界遺産フォーラム 文化遺産とひと・まちづくり

第2部　パネルディスカッション ～世界文化遺産を生かしたまちづくり～

パネリスト

- 結城 雅則 氏
- ジョシュア・ルッチュレル 氏（アメリカ出身、来日21年）
- 塚田まゆり（善光寺の世界遺産登録をすすめる会 推進会議 議長）
- 松橋 寿明（コーディネーター・善光寺の世界遺産登録をすすめる会 副幹事長）

文化遺産の価値は市民がつくる

ストーリーづくりが必要

松橋 寿明

松橋　富岡製糸場の事例をもとに、文化遺産を生かしたまちづくりはどんな展望が描けるのか、考えていきたいと思います。富岡製糸場が一般公開されるようになったのはずいぶんと最近のことだったのですね。

結城　富岡製糸場の一般公開は2005年。世界遺産登録へのプロジェクトが始まって２年後でした。世界遺産登録された2014年の年間来場者は133万人で、前年の31万人から飛躍的に増えました。その後も地元の上毛新聞がずっとキャンペーンを張ってくれていますし、市民からのＰＲも続いていて、絹産業の歴史も感じてもらえていると思います。

塚田　やはり世界遺産登録はそれだけのインパクトがあるのですね。無限の可能性を感じます。市民の皆さんもガイドを務めたり、花壇を作ったり、演奏会を開いたりと、製糸場を中心に生き生きとして輝いている。その営みこそが素晴らしいですね。

善光寺でもコンサートなどさまざまなイベントを開いていますし、ガイドもいます。オリンピックという大事業を経て、たくさんのＮＰＯに助けられながら、いまだに世界遺産に至っていないことを省みて、さらにストーリーづくりをしていく必要があると感じます。

ジョシュア・ルッチュレル 氏

善光寺の「懐の深さ」は世界に誇れる

松橋　外国の方からみた善光寺の魅力、印象を教えてください。

ジョシュア　善光寺の建築は美しく、儀式はとても興味深い。日本ならではの美意識に魅力を感じ、日本の文化を知るのにとても良い場所だと感じました。

松橋　ここで、善光寺の世界遺産登録を進める会がアピールしている善光寺の文化価値や魅力を紹介します。最大の特徴は、現在も大変多くの参拝客がいることからも分かるように、寛容な信仰であることです。善光寺は修行の場ではなく、人々が極楽浄土を願ってお参りする場でした。女人禁制であったり、差別された人を受け入れなかったり、制限を設ける霊場がある中、善光寺はあらゆる人の心を受け入れて、多くの庶民から信仰されました。善光寺は創建以来、何度も再建されていますが、その中でより多くの参詣者を受け入れるために金堂（本堂）に礼堂（内々陣）が加わり、さらに内陣、外陣、三方向に向拝が付加され、縦長の大空間になりました。そして、多くの参詣者が集まることで宿坊、仲見世、商家などで構成する門前町が成立したのです。

塚田　善光寺は私たち市民にとって心のよりどころ。この精神性、懐の深さは世界に誇れると思います。

松橋　世界に向けてアピールするための方法も考えていかなければいけませんね。

ジョシュア　外国語のパンフレットは日本語版と同じ内容ではなく、外国人に向けた内容だと良いですね。善光寺に関する記事や、より多くの情報が載っていれば、よりよく理解できる。さまざまな場所で入手できると良いですね。

塚田まゆり

結城　以前に善光寺を訪れた際には、裏手の駐車場に止めたので、そのまま裏から参拝してしまいました。今回はガイドの方に正面から案内してもらい、より深く味わうことができました。

松橋　やはり善光寺は表参道からお参りしてほしいもの。案内不足は市民として反省すべき点かもしれません。

塚田　本堂で毎朝行われる法要「お朝事（あさじ）」やさまざまな年中行事も魅力の一つ。しっかり伝えていきたいです。

松橋　一人一人の市民の街に対する思いで文化遺産の価値は高まるものと思います。今日の話をもとに、市民の皆さまと共に価値を共有し、世界に発信していきたいと思います。

すすめる会会員一覧

すすめる会は、ご覧の会員の皆さま方からの年会費によって活動しております。

朝日病院	信州製袋	長野観光コンベンションビューロー	長野西ロータリークラブ	ホテル国際21
インフォメーションネットワークコミュニティ	信防エディックス	長野北ロータリークラブ	長野東ロータリークラブ	増田商会
エーシーエ設計	鈴木土地	長野県経営者協会	長野放送	松澤工業
FMぜんこうじ	炭平コーポレーション	長野県建築士事務所協会	長野ロータリークラブ	マナテック
エムケー精工	駿専青木商店	長野県社会保険労務士会	中村建築研究所	マルイチ産商
おらが園	善光寺木遣り保存会	長野県信用組合	中山法律事務所	萬佳亭
カシヨ	善光寺事務局	長野県信用農業協同組合連合会	夏目	ミツワヤンマー
北野建設	善光寺まちづくり会議	長野県中小企業団体中央会長野支部	Nikki Fron	ミヤテック
倉田博光会計事務所	第一建設工業長野支店	長野市電設業協会	日新電機製作所	宮本忠長建築設計事務所
国際ソロプチミスト長野	タカチホ	長野商工会議所	日本旅行 長野支店	元善町
国際ソロプチミスト長野みすず	高野総本店	〃　篠ノ井支部	野村證券 長野支店	山口司法書士事務所
西條被服	滝澤無線	〃　松代支部	八十二銀行	八幡屋礒五郎
システックス	長印	長野商店会連合会	八十二文化財団	
信濃毎日新聞社	テレビ信州	長野信用金庫	福澤商店	
シューマート	電算	長野青年会議所	藤森建設工業	
信越定期自動車	東芝 長野支店	長野トヨタ自動車	淵之坊	
信越放送	長野朝日放送	長野トヨペット	ベイクックコーポレーション	（50音順）

2019年12月現在　※表記等で間違いや訂正などございましたら事務局までご連絡ください。